

教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価の結果に関する報告書【概要】

1 教育総務課

重点事項	充実した活力ある学習環境の整備		
事業名	1. 学校施設の長寿命化と適正配置		
主要項目	①学校施設の長寿命化計画（個別施設計画）の策定 ②町教育施設適正配置の推進		
自己評価	長寿命化計画について、第七次猪苗代町振興計画に位置付けし計画準備を進めた。 猪苗代町統合中学校基本計画を策定した。		C
外部評価	現場をよく見て事業等に反映していただきたい。		C
重点事項	「生きる力」の基礎を培う教育活動の実践、支援		
事業名	1. 児童生徒に夢と希望を与え、生きる力の基礎を培う学校づくりの推進 2. 国際化、情報化等（変化）に対応する教育の実践 3. キャリア教育の推進 4. 生徒指導の充実		
主要項目	存在感(特色)のある、学校づくりの実践、「私たちの誓い6ヶ条」運動の実践 ほか		
自己評価	スクールバス等を年間290件運行し校外学習や地域行事への参加を図った。「私たちの誓い6ヶ条」や「生活と学び方の基本を身につけよう」を全校に配布し周知・再確認を行った。司書補の配置及び「猪苗代わくわくブック」運動を実施し読書活動の推進を図った（実績889件）。小中学校に特別支援員の配置や関係機関との連携、東京学芸大学から教授を招くなど特別支援教育の充実を図った。小中学校にALTの派遣、デジタル教科書の配備やタブレット端末の導入、情報モラル教育を推進するなど国際化、情報化等に対応する教育を実践した。キャリア教育により自分の進路や職業、働く意味などを学ぶことができた。「猪苗代町いじめ防止対策基本方針」に基づき、各校においていじめの未然防止のための取り組みとスクールカウンセラーの活用により生徒指導の充実を図った。		B
外部評価	生きる力として、どういうふうに生きるのか、又志が大事であるため常に意識しながら指導にあたっていた。いじめ対策について、先生と子ども達のコミュニケーションは大切である。		B
重点事項	「確かな学力」を育む授業づくりの実践、支援		
事業名	1. 一人一人に確かな学力をつけさせる授業づくりの実践 2. 各学年、学級、個人の学力実態把握による授業改善の実践・支援 3. 一人一人の学習意欲を喚起し、やる気を育てる工夫、実践		
主要項目	個人研究、校内研究の推進及び町学力向上推進事業による授業研究会、学力検査の実施と結果の分析・活用 ほか		
自己評価	合同授業研究会、要請訪問を実施し、各校の課題解決に向け取り組んだ。東京学芸大学付属等の教諭を招聘し、授業研究会を開催し授業のあり方について学んだ。東京学芸大学との連携事業として学生ボランティアによる学習支援を行った。児童生徒の学力については、県平均ではあるが算数・数学科に課題がありその改善に取り組んでいるところである。		B
外部評価	先生たちは大変苦勞されていると思われる。中間層(人数の多い)の底上げが全体の学力向上に必要と思われる。		B
重点事項	「健やかな体」をつくる教育活動の推進、支援		
事業名	1. 児童生徒の体力、運動能力の増進 2. 家庭や地域、関係機関との連携による児童生徒の健康増進 3. 災害等緊急時の対応や放射線健康リスク管理に関わる危険予知・対処・回避能力の育成		
主要項目	①体力運動能力の増進、各種大会参加補助 ②食育の推進 ③交通安全教室や放射線教育の実施 ほか		
自己評価	町主催事業への参加や各種大会の参加経費を補助し体力、運動能力の増進を図った。子どもたちの体力、運動能力の実態について、握力や柔軟性に優れているところもあるが、小・中学生一貫して、持久力に課題がある。朝食摂取率95%以上と目標値を上回った。「ふくしまっ子ごはんコンテスト」の食育授業を実施し、望ましい食生活について考えさせることができた。交通安全教室、放射線教育をすべての学校で実施し防災への意識を高めた。通学路安全対策推進会議による合同点検を夏季と冬季の2回実施し、その結果を公表した。		B
外部評価	富岡町よりバドミントン部を受け入れたことは、本町にとって良い結果となっている。部活動における外部指導者を活用すること。肥満の一つは虫歯が原因であるため、小さい頃からの指導が大事である。		C

評価基準	自己評価	A：大きく上回る	B：やや上回る	C：目標達成	D：やや下回る	E：大きく下回る
	外部評価	A：期待以上	B：やや上回る	C：期待どおり	D：やや下回る	E：期待以下

2 こども課

重点事項	充実した活力ある学習環境の整備		
事業名	1. こども園・保育所施設整備修繕、教育保育備品整備事業		
主要項目	園児等の快適な教育環境を維持するため施設の整備・修繕及び教育備品等の整備を行う。		
自己評価	快適な教育・保育環境の整備、維持に努めた。さくらこども園に冷房専用エアコン取付工事を施工し、全ての保育室への取付けが完了した。各施設にて経年による修繕箇所が増加しており、今後は修繕計画等を立案し予算確保を行い、良好な環境の維持に努めたい。		C
外部評価	きめ細かく環境整備を進めている。 環境を形作るもっとも大事なことは人（こども園の先生方の存在）である。		C
重点事項	「生きる力」の基礎を培う教育活動の実践、支援		
事業名	1. 園児に夢と希望を与え、生きる力の基礎実現を培う園づくりの推進 2. 変化に対応する教育保育の実践 3. 指導の充実		
主要項目	①存在感（特色）あるこども園、保育所づくりの実践②特別支援教育の推進 ほか		
自己評価	特色ある教育保育活動として、地域のまつりへの参加や地元の方々の協力による畑作りなど、地域の人々と触れ合う機会を設けた。支援が必要な子どもについて、特別支援担当教諭を配置すると伴に多くの保育教諭が特別支援についての研修会に参加した。多様化する家庭環境に対応した子育て相談や、一時保育を実施した。学生の体験学習の受け入れや老人ホーム等を訪問し、幅広い年代との交流事業を行った。指導の充実として「しっかりと褒める」「きちんと叱る」ことを教育活動の基本として実践した。		B
外部評価	こども園、小・中学校、高等学校を含めた学びの連続性が非常に大切であり意識して取り組んでいただきたい。		C
重点事項	「確かな学力」を育む授業づくりの実践、支援（学びの連続性がもてる保育環境作りの実践、支援）		
事業名	1. 一人一人に確かな学びの基礎を培う教育保育の実践 2. 一人一人の学びの意欲を喚起し、やる気を育てる工夫、実践		
主要項目	①共通テーマに基づく研究の実践、保育協議会研修参加推進 ②園・所・小の円滑な接続の重視 ほか		
自己評価	町こども園教育研究会において特別支援教育についての研究実践及び事例の協議・考察に取り組んだ他、各研修会へ参加した。東京学芸大学連携事業として附属幼稚園での視察研修の実施や教授を招聘し意見交換等を実施し、これからの園運営、教育方法に取り入れている。就学への円滑な接続に向けた取組として小学校見学体験を行なった。学びの意欲ややる気を育てる工夫として、園外保育の実施、各種絵画コンテストへ参加した。		B
外部評価	できるだけ先生方の研修会への機会を設けることが望ましい。 就学に向けた指導取組みについて、先生方が子どもに寄り添った対応を行っている様子がうかがえる。		C
重点事項	「健やかな体」をつくる教育活動の実践、支援		
事業名	1. 園児の体力、運動能力の増進 2. 家庭や地域、関係機関との連携による園児の健康増進 3. 災害時緊急時の対応や放射線健康リスク管理に関わる危険予知、対処・回避能力の育成		
主要項目	①体育的行事の充実 ②「早寝・早起き・朝ご飯」運動の実践 ほか		
自己評価	戸外活動やサッカー等の球技、水遊び縄跳び等により、日頃の保育に自然な形で運動を取り入れた。体力、運動能力の増進が見られた事例として、集団での大縄跳びが出来るようになった。「早寝、早起き、朝ご飯」運動を実践し、朝食摂取率98.6%を達成した。交通安全教室や避難訓練を通して、さまざまな場面での回避能力の育成に努めた。スクリーニング検査を実施し、食の安全に努めた。		C
外部評価	家庭の情報を常に把握することが大事である。スクリーニング検査の継続を期待する。		C
重点事項	「家庭の教育力」の回復		
事業名	1. 園、学校・家庭・地域社会の連携、協力体制の構築、推進		
主要項目	①こども園・保育所PTAによる各種事業、活動の推進 ②広報活動の実践 ③子育て支援 ほか		
自己評価	保護者全体会や役員会を実施し、スムーズな運営が実施できた。毎月の園だよりや連絡帳を活用し、園の方針及び園児の成長の様子を発信し保護者の理解を図った。さまざまな子育てニーズに対応できるよう、関係機関との連携を図った。家庭での手伝い運動について、子ども達の自主的な行動を促した。		B
外部評価	保護者の理解と協力が得られるよう、今までどおり連携を図っていただきたい。		C

評価基準
 自己評価 A：大きく上回る B：やや上回る C：目標達成 D：やや下回る E：大きく下回る
 外部評価 A：期待以上 B：やや上回る C：期待どおり D：やや下回る E：期待以下

教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価の結果に関する報告書【概要】

3 生涯学習課

重点事項	「豊かさと活気」にあふれ、学び続ける猪苗代の創造		
事業名	1. 生涯学習の推進		
主要項目	①学習機会と情報提供、相談体制の整備 ②世帯間交流事業の充実 ほか		
自己評価	参加者数は、目標人数に達していないが、申込者数は、定員に達している人気の講座等が複数あった。どの講座等も学びながら参加者同士の交流にもなった。		C
外部評価	各種講座等を開催した後を大事にして、次に繋がるよう取り組んでいただきたい。		C
重点事項	「豊かさと活気」にあふれ、学び続ける猪苗代の創造		
事業名	2. 図書歴史情報館（和みいな）利活用の推進		
主要項目	①図書館サービスの充実 ②歴史情報室の利活用 ほか		
自己評価	年間来館者数が30,098人（開館日数300日） 新しく蔵書になった数2,362冊、貸出人数14,165人、読み聞かせ会や講座を開催、年間を通して図書特集コーナーを設置し、レファレンスサービス、リクエストサービス、予約サービスなどの図書館サービスの充実を図った。猪苗代の歴史を常設展示や映像で紹介した。小林栄展や写真展「美しい猪苗代Ⅱ」、みちのくの木地玩具店を開催し文化財保護の啓蒙に努めた。草花観察教室 I N 亀ヶ城などの芸術作品展や各種イベント事業を開催し歴史情報室の利活用を図った。読み聞かせセミナーなど和みいなボランティア育成のための講座を開催した。和みいな通信やまちとしょだよりの発行を行い広く町民に周知した。		B
外部評価	歴史・郷土史の充実と図書の選定については、町民のリクエストやアイデアを取り入れ願いたい。		B
重点事項	「豊かさと活気」にあふれ、学び続ける猪苗代の創造		
事業名	3. 文化財の調査・保存・活用事業の推進		
主要項目	①史跡の調査、保存・活用 ②民俗資料の調査、収集・活用 ③埋蔵文化財の調査 ほか		
自己評価	旧二本松街道松並木倒木伐採の実施や「猪苗代城跡附鶴峰城跡」を国の史跡となるよう努めた。民俗資料の保管と整理、修復及び埋蔵文化財の調査を実施した。民話、歴史関係団体の活用等による講演会や夜のおはなし会を実施した。町指定天然記念物大鹿桜ほか9件の管理に対する助成を行い、その保存に努めた。文化財周知を図るためパンフレット作成及び歴史講演会を実施した。		B
外部評価	文化財の所在について、年1回の確認と専門職の配置について検討されたい。		C
重点事項	「豊かさと活気」にあふれ、学び続ける猪苗代の創造		
事業名	4. 生涯スポーツの振興		
主要項目	①町民を対象にした各種大会や教室等の充実 ②地域総合型スポーツクラブの活用と体力の向上 ほか		
自己評価	スポーツ行事等の充実のため、年間予定事業（町民健康マラソン大会等）の開催や共催及び各関係団体への補助金を交付した。総合型地域スポーツクラブの活用と体力向上に努めるため、町スポーツ推進委員や町体育協会との連携を図り指導体制の充実を図った。スポーツ少年団の指導者の資質向上を図った。スポーツ施設の整備を行った。		B
外部評価	猪苗代町総合体育館周辺のもんなの広場をもっと工夫してスポーツ行事等に活用願いたい。		C
重点事項	「豊かさと活気」にあふれ、学び続ける猪苗代の創造		
事業名	5. 文化活動の推進		
主要項目	①町民主体の文化活動の充実 ②体験交流館（学びいな）の利活用の推進		
自己評価	猪苗代町体験交流協会との様々な事業について、計画通り協働や連携等ができた。特に、学びいな夏祭りや秋祭りについては、町民が日頃の活動成果を発表できる機会となっており、観る側も交流の場となっている。		C
外部評価	ホームページを活用し文化活動の内容について周知を図っていただきたい。		C
重点事項	「豊かさと活気」にあふれ、学び続ける猪苗代の創造		
事業名	6. 地域を担う人材の育成		
主要項目	①絆づくり事業による交流の充実 ②町民総ぐるみによる青少年の健全育成活動の展開		
自己評価	16回目となった母から子への手紙コンテストについては、継続して周知に努めたことにより応募者数について目標を達成できた。「青少年の主張猪苗代大会」を開催し、大人の方々に青少年の健全育成に対する理解を深めていただく機会となった。「キミの喜びをシェアしよう！思い出の絵手紙募集」については、来館する多くの小中高校生に見てもらうことができた。		C
外部評価	入賞作品について、朗読する機会を設けていただきたい。		C

評価基準

自己評価 A：大きく上回る B：やや上回る C：目標達成 D：やや下回る E：大きく下回る
 外部評価 A：期待以上 B：やや上回る C：期待どおり D：やや下回る E：期待以下